

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人雲南広域福社会

目 次

I. 総括	P 1
II. 法人運営	P 3
1. 理事会、評議員会	P 3
2. 監査	P 4
3. 評議員選任・解任委員会	P 4
4. 政策運営会議	P 5
5. 所長会議	P 5
III. 事業活動の運営に当たって	P 5
1. 利用者の人権尊重、苦情解決	P 5
2. 職員の研修、教育	P 5
3. 防災対策	P 7
4. 関係機関との連携、運営の公開	P 7
5. 地域の人材育成や地域啓発	P 7
6. 福祉団体への支援	P 8
IV. 各事業所の事業報告	P 9
1. 就労支援事業所しゃぼん玉工房	P 9
① 就労移行支援事業	
② 就労継続支援B型事業	
③ 就労定着支援事業	
2. 生活介護事業所にじいろ	P 12
3. 共同生活援助事業所レインボーハイツ	P 14
4. 児童発達支援事業所さくら教室	P 17
5. 相談支援事業所そよかぜ館	P 19
6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ	P 22
7. 地域活動支援センターパレット	P 26

令和5年度雲南広域福祉会事業報告書

1. 総括

近年、少子高齢化が一層進行する中で、障がいのある方の増加、特に重度障がいの方が増える傾向にある。そうした中で「すべての人々がその人らしい生活ができるよう支援する」社会福祉法人の役割も重要になっている。

また、障害者総合支援法の一部改正法（平成28年5月成立）が、平成30年4月から完全施行され、就労定着支援事業や自立生活援助事業が新設されると同時に高齢化・重度化に重きを置いたサービス展開と多様なニーズに対するより柔軟で適切な対応が求められるようになった。

そういった中で、令和5年度決算においては、収入では、給付費は就労支援事業所「しゃぼん玉工房」、共同生活援助事業所「レインボーハイツ」、相談支援事業「そよかぜ館」は増加し、児童発達支援事業所「さくら教室」、生活介護事業所「にじいろ」は微減となり、各種受託事業についても増加した。一方、支出面も前年に比べて人件費は、新規職員を採用したこと等により増加したが、結果として法人全体では前年度に引き続き、単年度収支は黒字となった。しかしながら、令和6年度は、職員採用を行い、給付費の加算に伴う処遇改善を行うために、一定の人件費が必要となる。

一方、私たちの法人が果たすべき役割はますます重要となっており、法人の現状と課題について役員と職員が情報を共有しながらしっかりと議論することが何よりも大切になってきている。

そのことを通じて、具体的な目標設定等や方向性を明らかにして、地域貢献を継続していける法人となること、すなわち「健全な法人運営」に全力を傾注していかなければならない。

以下各事業について報告する。

1. 障がい福祉サービス事業所の就労支援事業所しゃぼん玉工房では、以下のとおり取り組んだ。

- ① 就労移行支援事業では、利用者個々の適性に応じた職場実習や就労準備支援を行なった。また、就職した方が勤務する職場への訪問等により定着支援を行なった。
- ② 就労定着支援事業では、就労移行支援事業等を利用し、一般就労後、6か月経過した障がい者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所や家族等との連絡調整等の支援を行なった。
- ③ 就労継続支援B型事業では、体力や職業能力に応じた作業に従事できるよう支援した。また作業の拡充と工賃向上を目指す中、コロナ禍も回復し、クリーニングでの作業量は増加し、野菜出荷作業では、各種野菜の生育が順調だったために出荷量が増加し、市内の給食センターにも安定して出荷することができた。

2. 障がい福祉サービス事業所の生活介護事業所にじいろでは、生産活動と余暇活動、健康管理に関して支援を行った。生産活動では、利用者の高齢化や障がいの特性を考えた作業種での対応に努めた。また、外出活動については、コロナ禍だったが、利用者の孤立や生活が単調にならないよう行事等を行った。健康管理では、毎日、通所時に健康チェックを行い、健康状態の把握に努めた。

3. 障がい福祉サービス事業所の共同生活援助事業所レインボーハイツでは、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 四ヵ所のユニット毎に各利用者一人一人の状況に応じて、安心して共同生活が継続できるよう支援した。
 - ② 衣食住全般に渡る日常生活や金銭管理、健康管理や余暇支援、また就労している利用者の就労継続支援等に取り組んだ。

4. 児童福祉サービス事業所の児童発達支援事業所さくら教室では、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 就学前の児童に対して児童発達支援事業、学齢期の児童・生徒に対して放課後等デイサービス事業を開設曜日の効率化を図りながら、集団療育、個別療育に取り組んだ。
 - ② 雲南市、奥出雲町、飯南町から受託して実施した障がい児通園事業では、通常事業に加えて飯南町、奥出雲町で定期的に療育支援を行った。島根県東部発達障害者支援センターの協力を得て、保護者が「子どもとの関わり方」を学習できるようペアレントトレーニングに取り組み家族支援を行った。また、相談機関につながる前の親子を対象に遊びの教室を開催し、親子の触れあい方を遊びを通じて伝えるよう支援した。

5. 相談支援事業所そよかぜ館では、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託して、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。
 - ② 指定相談支援事業所としてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。
 - ③ 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、高次脳機能障がい者の地域生活の相談に応じた。
 - ④ 単身で生活する障がい者等が地域での生活を継続できるよう地域定着支援に取り組んだ。

6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでは以下のとおり取り組んだ。
 - ① 障がい者に対する就労支援や職場定着支援、事業主に対する障がい者雇用や雇用管理への助言、働く仲間のグループ育成や交流会の開催、関係機関との就労支援ネットワーク構築等に取り組んだ。
 - ② 就職ガイダンス、ピアサポート活動、マナーアップ講座等、障がい者の就労意欲の向上、働く上で必要な知識やスキルを身につけるための研修会を開催した。
 - ③ 「雲南地域はたらく応援プロジェクト」を、地域の障がい者就労支援関係機関が連携・協力し、就労系福祉サービス事業所利用者の就労支援に取り組んだ。

7. 地域活動支援センターパレットでは、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域活動支援センターⅠ型事業を受託して、日常的に創作活動や軽作業による生産活動、障がい当事者の自主的活動の支援や広域的な交流活動等を行った。
 - ② 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業や社会参加促進事業等を受託して、手話通訳者の設置、芸術・文化教室の開催や視覚障がい者の社会研修等に取り組んだ。

8. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応を以下のとおり行った。

- ① 新型コロナウイルス感染症については、4月に「しゃぼん玉工房」「グループホームレインボーハイツ」「パレット」の利用者の中で陽性者があり、5名以上のクラスターとなったが、いずれの利用者も軽症だった。
- ② 各事業所の活動等については、感染防止対策を行いながら概ね予定通り行った。

II. 法人運営

1. 理事会、評議員会

雲南広域福祉会の現在の理事・評議員数は以下のとおりである。

- 1) 理事数 7名
- 2) 評議員数 9名
- 3) 監事数 3名

(1) 理事会の開催状況

回	会議名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第95回理事会 6月7日(水)	理事：6名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の職務執行状況報告について ・ 指定相談支援事業所そよかぜ館、生活介護事業所にじいろ、就労支援事業所しゃぼん玉工房、共同生活援助事業所グループホームレインボーハイツ運営規程の一部改正の専決処分について ・ 令和4年度事業報告について ・ 令和4年度決算について ・ 令和5年度補正予算（第1次）について ・ 役員候補者の選定について ・ 評議員候補者の選定について ・ 第7回評議員選任・解任委員会の招集の決定について ・ 第74回評議員会の招集の決定について
2	第96回理事会 6月22日(木)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回評議員選任・解任委員会の開催結果について ・ 理事長の選任について
3	第97回理事会 12月12日(火)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の職務執行状況報告及び上半期事業報告について ・ 苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について ・ 財務担当理事設置要綱の廃止について ・ 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について ・ 給与規程の一部改正について ・ 令和5年度補正予算（第2次）について ・ 第75回評議員会の招集の決定について
4	第98回理事会 3月19日(火)	理事：6名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度補正予算（第3次）について ・ 令和6年度事業計画について ・ 令和6年度当初予算について ・ 第76回評議員会の招集の決定について

(2) 評議員会の開催状況

回	会議名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第74回評議員会 6月22日(木)	評議員：5名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告について ・令和4年度決算について ・令和5年度補正予算（第1次）について ・役員の選任について
2	第75回評議員会 12月20日(水)	評議員：8名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期事業報告について ・苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について ・役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について ・令和5年度補正予算（第2次）について
3	第76回評議員会 3月27日(水)	評議員：8名 監事：2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度補正予算（第3次）について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度当初予算について

2. 監査

(1) 監査の状況

回	実施年月日	実施者	内 容
1	5月29日(月)	監事：3名 財務担当理事：1名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 事業報告 令和4年度 資金収支計算書 令和4年度 事業活動計算書 令和4年度 貸借対照表 令和4年度 財産目録

(2) 内部経理監査の状況

回	実施年月日	実施者	点 検 項 目
1	12月26日(火)	統括所長	上半期分 ①経理規程の整備状況 ②会計組織の整備状況 ③通帳・印鑑の管理状況 ④支出事務の状況 ⑤収入事務の状況 ⑥寄附金の取扱状況 ⑦固定資産の管理状況 ⑧予算の管理状況 ⑨契約の取扱状況 ⑩財務諸表の開示 ⑪諸帳簿等の作成状況 計算書類、会計帳簿（主要簿、補助簿）、証憑書類関係（見積書、請求書、振込書、領収書、決議書等）

3. 評議員選任・解任委員会

回	実施年月日	出席者数	選任・解任の状況
1	6月7日(水)	委員3名 事務局員	評議員1名 選任 那須久三

--	--	--	--

4. 政策運営会議

事業規模が拡大・多様化してきている当法人の業務の中で、重要な事項の執行等事業運営の円滑化を図るため、理事長と理事長の指名する理事による政策運営会議を開催した。

開催日 6月2日(金)、3月5日(火)

5. 所長会議

月1回の定例開催により各事業所の成果や課題を共有しあい、法人全体で事業間の連携を取りながら各事業の特性を活かして業務に当たった。又、個別に事業所の経営状況について所長ヒアリングを行いながら経営改善への努力を行っており、今後はこれを所長会議の中に位置づけて経営改善に努めたい。

Ⅲ. 事業活動の運営に当たって

1. 利用者の人権尊重、苦情解決

いかなる時も利用者の人権を尊重して業務に従事し、虐待防止に取り組んだ。

苦情解決担当者会議の開催、第三者委員を交えた委員会の開催、第三者委員による就労支援事業所しゃぼん玉工房の巡視及び利用者と第三者委員との懇談会等を開催して、利用者の権利擁護に努めた。また、法人内において人権、権利擁護に関する所内職員研修会を開催するとともに、所外において開催される人権研修会に参加した。

苦情解決担当者会議	9月25日(月)
第三者委員を交えた委員会	10月2日(月)
第三者委員による就労支援事業所しゃぼん玉工房の巡視、利用者と第三者委員との懇談会	11月13日(月)

寄せられた苦情・意見に対しては、誠意を持って話を聴き、改善に取り組んだり、或いは理解をいただくこととしている。

寄せられた苦情・意見 0件

2. 職員の研修、教育

1. 施設外専門研修を積極的に受講させ、障がい者支援の力量形成に取り組んだ。
2. 法人内に研修委員会を設置し、施設内研修を計画的に実施し、職員の資質向上に取り組んだ。
3. OJTの推進、自己啓発や資格取得に向けた自己学習の支援等を行った。
4. 新規採用職員に対して、エルダー制度を設けた。また、採用事業所以外の事業所での実習と障がい者福祉についての研修を行った。

研修実績表

月	・全職員対象(所内) ・テーマ、業務調整により全職員対象(所外)	・職務経験・職種等による対象(施設外研修)	
	施設内(外)研修	職種・事業担当等による	職務経験・職位による

4	新規採用職員研修 (所内) 「法人理念、各種計画等」(5名)4/1	新型コロナウイルス感染症対策研修会 (4名)4/19	新任職員マナー研修 (1名)4/18
5	新規採用職員研修(障害者福祉について理解する)(5名)5/12、17	雲南圏域障がい者総合支援協議会総会研修会 (3名)5/24	キャリアパス対応生涯研修(チームリーダーコース) (1名)5/23、24
	新規採用職員他事業所実地研修(5名) 5/26～6/29	県精神障がい者支援事業所連絡協議会事業所 管理者研修(1名)5/27	
6		発達障がい基礎講座(1名)6/13	
7		障害支援区分認定調査員及び市町村審査会委員 合同研修会(2名)7/3	キャリアパス対応生涯研修(中堅職員コース) (2名)7/5、6 7/19、20
		就労選択支援研修会(2名)7/3	
		就業生活支援基礎講座(1名)7/7	
		障害者就業・生活支援センター担当者研修 (1名)7/11～14	
		設置通訳者・手話通訳等派遣コーディネーター 会議・研修会(1名)7/20	
		雲南分教室進路研修会、PTA研修会 (1名)7/20	
		サービス管理責任者更新研修(1名)7/25	
		相談支援従事者初任者研修(1名) 7/31、8/1、8/25、9/14、15	
8		就業支援基礎研修(1名)8/2	キャリアパス対応生涯研修(初任者コース) (1名)8/9、10
		サービス管理責任者基礎研修(1名) 8/23、24	
		公正採用選考推進セミナー(1名)8/29	
9	職員研修 (所内) 「法人の理念と基本方針」(34名) 9/20、9/25 (研修委員会主催)		中堅職員スキルアップ研修 (1名)9/27、28
	こころのフォーラム2023 精神障がいのある人の「親なき後を考える～ 何に困る?誰に頼る?～ (11名) 9/6 (パレット・そよかぜ館主催)		
10		労務管理研修(2名)10/16	
		福祉サービス苦情解決研修会(3名)10/24	
11		相談支援従事者現任者研修(1名) 11/1、2、21、12/14	
		市相談支援連絡会ワーキングG合同研修会 (3名)11/14	
		サービス管理責任者更新研修(2名)11/22	
		雲南市成年後見制度研修(2名)11/22	
		県精神障がい支援事業所連絡協議会事業者 スタッフ研修(2名)11/25	
		クリーニング師研修(1名)11/26	
12	職員研修 (所内) 「人権・権利擁護」(30名)12/19 (研修委員会主催) (欠席者: DVD 研修)	職業アセスメントにおける各種検査の活用方法 について(1名)12/4	監事研修(4名)12/12
		支援技法講習会(1名)12/5	
		メンタルヘルス研修(管理職コース) (1名)12/7	
		リスクマネジメント研修(一般コース) (1名)12/20	
		会計実務研修(中級コース)(1名)	
		会計実務研修(上級コース)(2名)	

1		ひきこもり支援研修会 (1名) 1/30	
		障がい者虐待防止・権利擁護研修(3名)1/31	
2	職員研修 (所内) 「アンダーマネジメント研修」 (27名) 2/21 (研修委員会主催) (欠席者: DVD研修)	障がい者虐待防止・権利擁護研修(2名)2/1	
		ワークサンプル幕張版の活用について ～0Aワークを中心に～(1名)2/1	
		災害時対応ワーキング研修会(1名)2/7	
		サービス管理責任者更新研修(1名)2/8	
3		社会福祉法人経営者セミナー(1名)3/5	

3. 防災対策

消防計画に基づいて、日常点検を実施し火災予防に努めるとともに、非常時に冷静な行動をとることができるよう避難訓練や消火訓練を実施した。また、交通安全運動にも取り組んだ。

防災対策部会の開催	6月16日(金)、
総合訓練の実施	三刀屋事業所: 10月26日(木) 木次事業所: 3月4日(月) 加茂事業所: 8月17日(木)、12月26日(火)
部分訓練の実施 (グループホーム水害・地震発生時の避難確認)	水害: レインボーハイツ7月7日(金)、いいしハイツ7月5日(水)、こじょうハイツ7月2日(日)、はるひハイツ7月6日(木) 地震: レインボーハイツ3月7日(木)、いいしハイツ3月5日(火)、こじょうハイツ3月3日(日)、はるひハイツ3月8日(金)
交通安全運動の実施	5/15(月)～5/17(水)、9/25(月)～9/27(水) ※しゃぼん玉工房利用者、グループホーム利用者の自転車点検1回/月

4. 関係機関との連携、運営の公開

障がい者総合支援協議会への参加や個別支援会議の開催、就業支援に関するネットワーク会議や高次脳機能障がい者支援に関するネットワークの取り組み等を通じて関係機関や他の障がい福祉サービス事業者等との連携を図った。

また、雲南市社会福祉法人連絡会として、「くらしの安心を支える 身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」、「うなんん福祉・安全サポーター」による「ながら見守り活動」、「地域の防犯活動」を展開した。

「そよかぜだより」「さくら通信」の発行、ホームページの活用によって情報の提供に努めた。

5. 地域の人材育成や地域啓発

(1) 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、今年度は、手話奉仕員養成講習会(基礎課程)を受講者6名(雲南5名、奥出雲1名、飯南0名)で、25回(50時間)実施し、2年間の講座を修了され、手話奉仕員として登録して頂いた。また、登録手話奉仕員の研修会を5回、手話啓発活動として、手話体験教室を雲南市(2回)と奥出雲町で開催した。また、登録要約筆記奉仕員フォローアップ研修は、9月に開催(出雲市)した。

(2) 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、家族交流会と家族研修会を開催し、精神障がい者の保健福祉の向上と社会復帰の促進を行うとともに雲南地域の家族の交流を深

めた。

(3) 雲南地域のスポーツ交流会や、みとやっこまつり等に出展（出店）し、ブースにたくさんの方が来場され、地域交流、地域啓発の場となった。

(4) 体験実習や研修の受け入れ、視察や見学の受け入れを行い、理解を深め合うことができた。就労支援事業所しゃぼん玉工房、生活介護事業所にじいろ、地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館、雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでの受け入れ

・実習・研修者：出雲養護学校雲南分教室、島根大学医学部看護学科、島根大学医学部環境保健医学講座、雲南保健所、三刀屋中学校、一般（3件）8団体 17名

・視察・見学者：株式会社給食雲南、三刀屋高校、松江緑が丘養護学校 3団体 9名

児童発達支援事業所さくら教室での受け入れ

・視察・実習：雲南市みなみかも保育園、湊川短期大学

2団体 2名

6. 福祉団体への支援

福祉団体の自主性を尊重し、効率的な運営ができるよう事務局を担当し、支援した。

(1) 雲南障がい者スポーツ協会

目的：障がい者がスポーツ競技への参加を通して体力の増進を図り、障がい者相互の親睦の輪を広げ、社会参加の意識を高めるとともに、地域の障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者福祉の増進に寄与することを目的とする。

・雲南障がい者スポーツ協会関係事業（参加者総数 295名）

6月にグラウンドゴルフ大会（参加者60名）を、10月にスポーツ大会（参加者120名）を、3月にニュースポーツ大会（参加者115名）を開催した。

・島根県障がい者スポーツ協会関係事業（参加者：ボーリング2団体11名、ボッチャ1団体7名、グラウンドゴルフ4団体28名）

(2) 精神当事者会サークル雲南（参加者総数 834人）

目的：雲南圏域に在住の精神障がい当事者の孤立を解消し、仲間の輪を広げ、活動を通じて様々な体験をし、社会参加の促進と充実を図ることを目的とする。

活動内容：①ミーティング、総会、交流活動、作業活動、学習活動、各種会議への参画、たよりの発行

②スポーツクラブ活動（ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ）、大会等への参加

③清掃美化等ボランティア活動

I. 事業別実施状況

1. 就労移行支援事業

一般就労を希望される方に対し、個別支援計画に基づき、事業所内での作業、企業内実習等を実施し、就労前準備支援を実施した。就労前準備の整った方に対しては、個々の適性に沿った職場探しを行った。

(1) 就職件数

件数	就職先の業務内容
2	建設業、小売業

(※内1件は就労継続支援B型利用者)

(2) 職場見学・実習の実施

1) 職場見学 3社

2) 職場実習

件数	日数	実習先の業務内容
5	56	建設業、小売業(2社) 合計3社

(※内2件38日は就労継続支援B型利用者)

(3) 就労へ向けたプログラムの実施

実習、見学に向けて個別に就労勉強会を実施し、ビジネスマナー等、事前学習の機会を設けた。

(4) 就労アセスメントの実施

特別支援学校の生徒1名に対して実施した。

2. 就労継続支援B型事業

一般就労をしていたが、年齢や体力等の理由で離職した方、一般就労を目指しているが必要な体力や職業能力の不足により就職に結びつかない方等に対し、個別支援計画に基づき、事業所内外において生産活動の機会を提供した。

(1) 作業活動内容

- ・感染対策として、検温やマスクの着用及び、日々の健康観察を実施した。また、各作業室の利用者数の制限、休憩時間を分散する等、その他感染予防に努めながら作業活動を実施した。
- ・高工賃のクリーニング及び施設外受託作業を安定して利用者へ提供できるよう、昨年度以上に作業量確保に努めた。その他の作業については、全体の作業バランスを考慮し、優先順位を付けて作業量の調整をした。
- ・工賃以外の経費については、資材等の値上げの影響を受け、前年度比103%となったが、水道光熱費等、節約できる部分については経費削減に努めた。
- ・各作業の作業工程を細分化し、障がいの程度に関わらず、高工賃の作業に従事できるよう工夫をして、一人ひとりの工賃向上に努めた。
- ・就労支援事業収入が支出を上回ったため、令和5年度は精算工賃(個々の年度総支給工賃額の18%相当額を売上余剰金より支給)を支給することができた。

(2) 就労支援事業収入

16,335,239円 (対前年度比 100%)

作業別収入 (内訳)

作業	収入	前年度比
クリーニング	7,398,806円	107%
野菜加工(ホレン草、セロ)	1,719,412円	94%
製品加工(かぼちゃ等)	1,099,554円	70%
施設外(トイレ清掃、除草等)	3,655,192円	110%
野菜出荷(農作業)	2,462,275円	89%

(3) 利用者工賃

- 1) 平均工賃月額 37,422円 (前年度比 116%) ※就労継続B型事業対象
- 2) 工賃支払総額 11,604,503円 (前年度比 102%)

3. 就労定着支援事業

就労移行支援事業を利用して就職し、就職後6か月経過した利用者に対し、面談や職場訪問、支援会議等を実施して就職後の定着支援を行った。

(1) 利用状況

	契約数	定着数(年度末時点)	就職先の業務内容
就労定着支援	2	2	製造業 合計2社

(2) 職場定着状況

年度	定着者数(年度末時点)	定着率(%)
令和4年度	2	100
令和5年度	2	100

II. 支援実施状況

(1) 利用者の状況(事業別)

① 契約者数推移

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就労移行	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
継続B型	35	35	35	35	35	36	36	36	36	36	35	35
就労定着	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	38	38	39	38	38	39	39	39	39	39	38	38

② 平均利用者数・利用率 ※()カッコ内前年度比

	就労移行支援	就労継続支援B型
一日平均利用者	1.1人 (-1.0人)	24.9人 (+1.8人)
年間利用率	18% (-17%)	104% (+8%)

③ 障がい種別（年度末時点）

	精神	知的	発達	身体	合計（人）
就労移行支援	0	0	1	0	1
就労継続B型	12	18	3	2	35
就労定着支援	1	1	0	0	2
合計	13	19	4	2	38

④ サービス別・年代別（年度末時点）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	平均（歳）
就労移行支援	0	1	0	0	0	0	0	21.0
就労継続B型	2	6	8	8	5	4	2	41.9
就労定着支援	0	0	1	1	0	0	0	41.5
合計	2	7	9	9	5	4	2	41.4

⑤ 契約者の出身地域別状況（年度末時点）

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	合計（人）
就労移行支援	1	0	0	0	1
就労継続B型	33	1	0	1	35
就労定着支援	2	0	0	0	2
合計	36	1	0	1	38

⑥ 新規契約者の利用経路

相談支援事業所	2
特別支援学校	2
その他の機関	0
合計	4

⑦ 退所者

	就職	法人内サービス	法人外サービス	就労アセスメント	在宅	入院	その他	合計
就労移行支援	1	0	0	1	0	0	0	2
就労継続B型	1	0	1		0	0	0	2
就労定着支援		0	0		0	0	0	0
合計	2	0	1	1	0	0	0	4

令和5年度 生活介護事業所にじいろ 事業報告

1. 事業実施状況

利用者の個別支援計画に基づき、創作活動や生産活動等の機会を提供し、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な支援を感染症予防に努めながら行った。

(1) 利用者状況

5年度の延利用者数は2,548名(前年度比195名減)、一日平均10.5人(前年度比0.7減)であった。利用者の体調不良、入院の長期化、休養、家庭事情での休みと高齢者介護福祉サービスへの変更があり利用者数が減った。

(2) 活動内容

月~金曜日	午 前	生産活動
	午 後	個別活動・全体活動・外出活動

活動内容詳細は月予定表で周知

- ・生産活動…企業の部品組立て作業、しゃぼん玉工房の野菜出荷調整作業など
- ・個別活動…個人の趣味活動（創作活動、部品組立て作業、入浴など）
- ・全体活動…創作活動、体操、軽スポーツ、クイズ、喜劇鑑賞など
- ・外出活動…買物、コンサート参加、果物狩り、散歩、ドライブ、アート展見学など

(3) 生産活動の実施状況

利用者の高齢化や障がい特性を考えた作業種を受注し、作業環境を整え、利用者の意思と特性に合った作業種に取り組んでもらい、達成感や生きがいを感じてもらえるよう支援した。生産活動での作業収入は、工賃として従事された利用者に分配した。

5年度の作業収入は、441,329円(前年度より49,936円減)で、平均工賃月額(1人あたり)は、2,140円(前年度より200円減)となった。作業受注量の変動で工賃支払い額が減額した。

(4) 個別活動・全体活動の実施状況

個別活動は、趣味を持っている方の取り組み支援を行い、趣味がない方は、作業活動を提供し、余暇の支援を行った。全体活動は、創作活動や所内レク活動などを中心に行い、仲間と楽しく活動する喜びを感じてもらえるよう支援した。

(5) 健康管理支援の実施状況

毎日、通所時に検温、血圧などの健康チェックを行い、健康状態を把握した。気になる点があった場合は、関係機関や医療機関と連携し、健康管理支援をした。また、体操や軽スポーツなどの活動を行い、体力維持の支援をした。

(6) 行事・外出活動の実施状況

日中活動が単調にならないよう行事や外出活動を行った。楽しみながら体力保持や脳の活性化、コミュニケーションや交流の促進をはかり、生活に潤いや充実感が持てるようにした。買物外出は、地域生活に馴染んでもらいながら自己選択で買い物ができるように実施した。

4月	花見、買物外出	10月	音楽療法、ぶどう狩り、買物外出
5月	買物外出	11月	当事者交流会、紅葉狩り、買物外出
6月	笹巻、買物外出、音楽体験、コンサート参加	12月	障がい者アート展、買物外出、忘年会、クリスマス会
7月	七夕の日、買物外出	1月	新年の日、初詣、買物外出
8月	サーカス観覧、買物外出、にじいろまつり	2月	節分の日、買物外出、梅見物
9月	雲南障がい者スポーツ大会、買物外出	3月	ニュースポーツ大会、ひな祭り会、買物外出、花見

(7) 利用者家族との連携状況

在宅利用者家族とは送迎時、GH利用者家族とは支援会議を通じて連絡、相談を行った。

(8) 関係機関との連携状況

相談支援機関、他福祉サービス事業者、医療機関等と連携し、利用者のサービス利用や個別支援計画の作成等を支援した。また、見学、体験利用、新規相談での連携も図った。

(9) 苦情解決の実施状況

日頃から苦情解決に向けた取り組みを所内で話し合い、利用での困りごとや不満に思われることを迅速かつ円満に解決できるようにした。また、苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会へ参加した。

(10) 非常災害対策・緊急時対応状況

総合避難訓練(2回)に参加し、緊急時対応訓練や話し合いを行った。また、日常点検を行い、火災予防に努めた。

(11) 体験利用、見学の受入れ

不安なく利用開始できるよう、事前の体験利用や見学希望者の対応をした。

2. 利用実績 (令和6年3月31日時点)

(1) 利用状況 [1日の利用定員: 20名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数	20	19	23	20	22	20	21	20	20	19	19	20	20.3日
利用者数	172	214	265	227	243	233	225	214	210	180	171	194	212.3人
1日平均	8.6	11.3	11.5	11.4	11.1	11.7	10.7	10.7	10.5	9.5	9.0	9.7	10.5人

(2) 支援区分別契約者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2人
3	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10人
4	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6人
5	2	2	2	2	2	3	2	2	1	1	1	1人
契約者数	21	21	21	21	21	21	20	20	19	19	19	19人

(3) 障がい種別契約者数

身体	知的	精神	高次脳	発達	計
3	4	11	1	0	19人

(4) 年代別契約者数

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	平均年齢
0	0	1	1	3	5	9	0	63.9歳

(5) 出身市町別契約者数

雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	計
16	2	1	0	19人

(6) 新規契約者数と退所者数

新規者数: 0人 (相談支援事業所、他福祉サービス事業所からの紹介)

退所者数: 2人 (入院継続、他サービスへの変更)

(7) 体験利用者数と見学者数

体験者数: 2人 (新規利用前の体験など)

見学者数: 4人 (新規利用希望など)

令和5年度 グループホームレインボーハイツ事業報告

1. ユニット別支援の特徴…利用者の状況に応じて住環境や援助の重点を考慮して運営した。

開始年度	ユニット名	定員	3月末 利用者数	ユニットの特徴
H14.4月	レインボーハイツ	10名	10名	精神症状の揺らぎの大きい利用者の相談に細やかに対応し、安心して暮らしていただいた。
H20.4月	いいしハイツ	5名	4名	男性で構成。共同生活のルールの中で話し合いながら楽しく暮らしていただいた。
H22.4月	こじょうハイツ	6名	5名	男性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
H24.4月	はるひハイツ	5名	3名	女性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
		26名	22名	※4年度終了時 21名

2. 利用者への一体的援助、個別的援助、介護の実施

休息の場を提供し、個別ニーズに応じた個別支援計画により、安心して、楽しく共同生活を送り、コロナ禍でも日中活動の場に継続して出かけられるよう支援や援助を行った。

(1) 日常生活支援の実施

(衣、食、住環境、保清、身だしなみ、ホーム当番(炊飯、掃除等)活動が苦手な方への援助)

生活相談	延 602 件
生活支援	延 3,894 件

(2) 健康管理の実施

基礎疾患等での定期通院の援助、受診同行、服薬支援、不調時の対応等、急性の傷病に対しての受診援助、新型コロナウイルス感染防止、インフルエンザ、食中毒等での予防等を行った。

健康管理、健康・医療相談	延 149 件
受診支援	実人数 19 名、延 383 件
服薬支援	延 6,859 件 (薬の預かり 6 名)

(3) 金銭管理支援の実施

自己管理支援及び金銭等(必要者)の預かり、日常生活自立支援事業(社会福祉協議会)の利用支援を行った。

金銭管理支援	延 330 件 (金銭等預かり 2 名)(日常生活自立支援事業利用援助 10 名)
--------	---

(4) 関係機関等との連絡調整等の実施

日中活動に継続して出かけられるよう関係機関等と連絡調整を行い、生活支援、就労定着支援を行った。

関係機関との連絡調整	延 170 件
------------	---------

(5) 利用者ミーティングの実施 (利用者間の人間関係調整でのグループワーク)

	職員合同	利用者のみ
レインボーハイツ	6 回	0 回
いいしハイツ	6 回	0 回
こじょうハイツ	12 回	0 回
はるひハイツ	14 回	0 回

(6) 買い物支援の実施

買い物デー	延 324 回 (827 人)
-------	-----------------

(7) 季節行事（文化、スポーツ活動）、社会参加・地域交流の実施

コロナ禍でもあり、全ユニット合同交流会を1回実施し、利用者、職員と一緒に楽しい時間を過ごした。年末は、夕食を豪華にし、各ユニットで慰労会を実施した。

全ユニット合同交流会（軽スポーツ）	1回
古希祝い	1名

(8) 近隣地域との交流、地域の理解

・10/22（日）みとやっこまつりへの参加

(9) 運営の公開と合意形成（施設見学の受入れ、たより広報、支援会議への参加等）

(10) 苦情解決（苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会への参加）

(11) 非常災害対策・緊急時対応（火災予防、避難訓練、夜間防災体制、緊急時連絡体制）

総合訓練	1回
部分訓練	各ユニット2回（水害訓練・火災訓練）

	R 5年度	R 4年度
夜間緊急対応	実人数1名、延1件	実人数3名、延4件

3. 利用者家族への支援及び研修会の案内

(1) 面談、電話連絡・相談、支援会議の実施

随時利用者家族と面談、電話連絡・相談、支援会議へ参加し、利用者及び家族支援を行った。

(2) 家族向け交流会、研修会の参加案内

① 家族研修会「こころのフォーラム2023」への参加

② 精神障がいのある方の家族交流会への参加

4. 関係機関との連携

個別支援計画の作成や実施にあたっては、相談支援機関や他の福祉サービス事業者、医療機関等関係機関との連携を図った。

5. 体験利用の受入れ

不安なくグループホーム利用が開始できるよう、事前の体験利用を受入れた。

	R 5年度	R 4年度
体験利用	実人数3名、計4回、計16日間	実人数4名、計6回、計30日間

令和5年度 グループホームレインボーハイツ利用者の状況 (R6.3月末現在)

①利用者数

単位：名(%)

ユニット名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
レインボーハイツ	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	119(99.2%)
いいしハイツ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48(80.0%)
こじょうハイツ	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	5	5	64(88.9%)
はるひハイツ	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	39(65.0%)
計	21	22	22	22	22	22	23	23	24	24	23	22	270(86.5%)
特記：入院者	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	2	1	12(実2)
体験利用者	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4(実3)

②障害支援区分

単位：名

非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
3	0	6	9	5	1	0

③男女別・年代別

単位：名(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男	0	1	3	2	3	4	3	16(66.7%)
女	1	1	0	0	2	1	3	8(33.3%)
計	1(4.2%)	2(8.3%)	3(12.5%)	2(8.3%)	5(20.8%)	5(20.8%)	6(25.0%)	24

④利用期間別

単位：名

1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年	15年以上
3	5	4	7	5

⑤日中の活動先

単位：名

一般企業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業	生活介護事業	その他
8	0	6(2名生活介護)	10	0

⑥障がい種別

単位：名(%)

精神障がい13(54.2%)	内 身体障がい重複(3)、知的障がい重複(2)、高次脳機能障がい重複(1)
知的障がい11(45.8%)	内 精神障がい重複(2)

⑦出身市町別契約者数

雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	計
16	6	1	1	24

⑧新規利用者数

新規利用者数
3

⑨退所者数と退所先

退所者数	退所先
3	実家：2 高齢者施設：1

令和5年度 児童発達支援事業所さくら教室 事業報告

1. 実施した支援事業

- (1) 児童福祉法に基づき、障害児通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）を実施し、障害のある児童に対して、身体機能、身辺自立、社会性の発達支援を行なった。
- (2) 1市2町から障がい児通園（デイサービス）事業を受託し、障がいのある児童、その家族に対し、療育活動、社会学習活動などを行った。
- (3) 1市2町から日中一時支援事業を受託し、障がいのある児童に活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための療育を行なった。
- (4) 県療育等支援施設事業を受託し、訪問、施設指導の方法により、療育的支援が必要な児童、保護者に支援を行った。

2. 障害児通所支援事業の契約、利用状況（単位：人）

(1) 利用状況（在住町村・年代別）

児童発達支援事業

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
雲南市			2	8	7	17
奥出雲町		1	2	1	1	5
飯南町				1		1
計		1	4	10	8	23

放課後等デイサービス事業

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
	4	6	1	2	3	3	3	22
	1	1						2
				1			1	2
計	5	7	1	3	3	3	4	26

(2) 月別利用状況（利用児延人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童発達支援	53	55	66	61	64	66	57	66	63	68	57	68	744
放課後等デイサービス	64	37	41	51	110	23	39	39	39	33	32	60	568
計	117	92	107	112	174	89	96	105	102	101	89	128	1312

(3) 利用人数推移（利用児延人数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童発達支援 （未就学児）	R3	89	62	88	74	96	91	90	86	93	98	74	98	1039
	R4	42	50	63	67	62	69	73	81	57	69	74	91	798
	R5	53	55	66	61	64	66	57	66	63	68	57	68	744
放課後等 デイサービス （就学児）	R3	77	40	51	66	124	44	62	55	54	58	46	60	737
	R4	76	39	42	83	146	38	36	28	47	51	39	56	681
	R5	64	37	41	51	110	23	39	39	39	33	32	60	568

3. 日中一時支援の契約、利用状況（単位：人）

(1) 利用状況（在住町村・年代別）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
雲南市				2	3	5
奥出雲町						
飯南町						
計				2	3	5

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
	4		1	1	2			8
計	4		1	1	2			8

(2) 月別利用状況（利用児延人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用児人数	25	18	15	21	39	18	12	12	18	14	11	23	226

4. 障がい児通園（デイサービス）事業 子ども発達支援事業

- ・あそびのきょうしつ 12回
- ・ミニさくら飯南 9回
- ・ミニさくら奥出雲 8回
- ・ペアレントトレーニング 6回（9月～11月）
- ・就学相談会 1回
- ・言語聴覚士（ST）による指導 9回
- ・作業療法士（OT）による指導 4回
- ・保護者相談会 3回
- ・季節行事活動 3回（ミニ運動会、りんご狩り、クリスマス会）

5. 島根県療育等支援事業

事業名	実施延べ件数
訪問療育事業	65件
施設指導事業	3件
合計	68件

6. 関係機関との協力、連携機関

- ・いしいクリニック やましろクリニック 児童発達支援センターやましろ
医師…保護者相談会
ST…言語指導 OT…作業療法
- ・島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ ペアレントトレーニング 巡回指導
- ・ペアレントメンター島根 ペアレントトレーニング
- ・各市町教育委員会 就学相談会 相談、情報交換
- ・雲南圏域各市町、保健師、福祉事務所 通園児紹介・相談・情報交換、あそびのきょうしつ
発達クリニック、1：6、3歳児健診後の支援連携
ミニさくら奥出雲、飯南での支援連携

7. 広報誌作

活動内容周知を目的とし、「さくら通信」を発行（利用者、関係機関に配布）

8. 見学、実習生の受入

湊川短期大学 保育実習 10月2～16日
みなみかも保育園 保育士 見学 3月12日

9. 非常災害対策・緊急時対応

避難訓練の実施

10. まとめ

- ・コロナ禍の影響で行っていたリモートによる相談も対面に移行して行った。
- ・児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業共に利用人数は減少傾向。
今後の利用促進を促すため、本児や家庭の状況をみながら、利用時間を工夫するなどして、
利用しやすい環境づくりをしていくことが課題。
- ・今年度初めて2週間の保育実習を受け入れた。保育、医療、教育の実習の受け入れ要請が、
入ってきておりニーズの高まりを感じた。

令和5年度 指定相談支援事業所そよかぜ館 事業報告

1. 委託相談支援事業

雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託し、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。

(1) 市町村別利用者数（実数）

	雲南市	奥出雲町	飯南町	他市町	計
新規	11	2	0	1	14
継続	156	16	8	0	180
合計	167	18	8	1	194

(2) 障がい種別相談利用者数 ※重複障がいも含む () 内は新規相談者数

	身体	知的	精神	発達	高次脳	重症心身	その他	計
実	32(0)	56(2)	49(7)	37(2)	13(3)	0	24(0)	211(14)
率	15.2%	26.5%	23.2%	17.5%	6.2%	0.0%	11.4%	
延	598	1,296	1,506	614	369	0	594	4,977
率	12.0%	26.0%	30.3%	12.4%	7.4%	0.0%	11.9%	

(3) 相談形態別相談件数

訪問	975	20.9%
来所相談	135	2.9%
同行	188	4.1%
電話相談	1,547	33.2%
電子メール	9	0.2%
個別支援会議	205	4.4%
関係機関	1,580	33.9%
その他	20	0.4%
合計	4,659	

(4) 相談内容別件数

福祉サービスの利用	2,742	27.0%
障害や病状の理解	900	8.8%
健康・医療	1,834	18.0%
不安の解消・情緒安定	1,849	18.2%
保育・教育	218	2.1%
家族関係・人間関係	1,033	10.2%
家計・経済	389	3.8%
生活技術	243	2.4%
就労	236	2.3%
社会参加・余暇活動	124	1.2%
権利擁護	14	0.1%
住居	81	0.8%
地域生活移行支援	6	0.1%
その他	505	5.0%

(5) 新規利用者の相談経路

県保健所	市町	医療機関	福祉サービス事業所	相談支援事業所	基幹相談支援センター	就業・生活支援センター	包括・ケアマネ	本人・家族	その他	合計
1	1	2	0	0	6	0	1	1	2	14

(6) 相談支援のまとめ

・新規相談は、前年度同様、基幹相談支援センターからの依頼が最も多かった。特に雲南市は例年に比して新規相談が多く、当事業所への依頼も増えた。状況を見ながら、できるだけ引き受けるよう努めた。

・継続相談では、福祉サービスや医療に関する内容が多かった。また、家族関係や対人関係に関する悩みや不安を訴える内容も多く、一つの相談が長時間、複数回に及ぶことも少なくなかった。

・家庭全体に支援が必要なケース、介護者の高齢化等の家庭環境の変化に伴う対応、こだわりの強さ等から周囲に影響を及ぼす行動が起りやすいケース等、高い援助技術や特別な配慮が必要になるケースが増えた。

2. 計画相談支援・障害児相談支援事業

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所として、障がいのある方が希望する暮らしの実現に向けてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。

(1) 契約者数の状況

①計画相談支援 新規契約11名、解約12名（サービス利用終了、介護保険への移行等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	107	106	106	105	107	107	106	106	107	107	106	105
新規	3				2		2	1	2			1
解約	1		1		1	3		1		1	2	2

②障害児相談支援 新規契約5名、解約5名（進級・施設入所等によりサービス利用終了、転居等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	36	36	37	37	36	37	37	37	37	37	37	36
新規	2		1			1		1				
解約				1			1				1	2

(2) 支援の状況

①計画相談支援 平均モニタリング数：53.5件/月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サービス利用支援	6	0	1	0	2	0	1	1	1	2	1	2
継続サービス利用支援	55	46	67	46	47	65	55	44	63	50	45	59

②障害児相談支援 平均モニタリング数：12.4件/月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サービス利用支援	2	0	2	0	0	1	0	1	0	0	2	1
継続サービス利用支援	8	11	18	11	13	14	10	14	15	11	14	10

3. 地域相談支援事業

指定一般相談支援事業所として単身で生活する障がい者等に対して地域定着支援を行った。

地域移行支援	実人員 0名	延 0名
地域定着支援	実人員 1名	延 12名
緊急時支援	緊急時支援Ⅰ（0件） ※緊急訪問等	緊急時支援Ⅱ（0件） ※深夜における電話対応

4. 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業

島根県から高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、利用者や家族への支援、関係機関との連携等に取り組んだ。

(1) 相談支援

①新規相談者数

	実人員	(再掲) 新規者の相談経路						
		医療機関	障害者支援事業者	介護保険事業者	保健所	市町村	その他	なし
人員	3	1	0	1	1	0	0	0

②相談延べ件数 (実人数：16名)

	電話	来所 来院	訪問	メール 書簡	その他 (出張・同行等)	計
本人	153	3	53	0	8	217
家族	26	0	21	0	1	48
関係機関	115	1	1	0	0	117
計	294	4	75	0	9	382

(2) 家族の集いの開催

- ①令和5年7月14日(金)『茶話会』5名
- ②令和5年11月2日(金)『とうふ作り体験』4名
- ③令和6年1月26日(金)『陶芸教室』※悪天候のため中止
- ④令和6年3月8日(金)『リフレッシュ企画』8名

(3) 関係機関との連携、ネットワークの構築

- ①ネットワーク会議の開催
 - ・第1回：令和5年7月26日(水) オンライン開催、24名
 - ・第2回：令和6年3月6日(水) オンライン開催、32名

- ②東部地域支援拠点(松江青葉病院)との連絡会の開催

(4) 研修会の開催

- ①令和6年3月6日(水) オンライン開催、35名
『支援を必要とする人との関わり』
講師：さかた社会福祉士事務所 阪田 健嗣 氏

5. ピアサポーター活用事業

(1) ピアサポーター活用状況

- ・ピアサポーター登録者数：4名(男性2名、女性2名)
- ・活用延べ人数：①個別支援0回、②集団支援14回53人

(2) 活動内容

- ・ピアサポーターだより(年4回)の発行を継続し、病院に届けた。地域で暮らすピアサポーターの日常の様子や季節感を入院患者に伝えた。
- ・保健所主催の精神障がい者地域移行・地域定着支援会議に出席した。

6. 障害支援区分認定調査の受託実施

雲南市、奥出雲町、飯南町から委託を受け、障害支援区分認定調査を行った。

認定調査	36件
------	-----

(雲南市 35件、奥出雲町 1件、飯南町 0件)

7. 研修会や会議等への参加

- (1) 雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画(雲南市地域部会、相談支援専門部会)
- (2) 他機関主催の会議等への出席(精神障がい者地域移行・地域定着支援会議、特別支援学校進路相談会 他)
- (3) 相談支援従事者等研修への参加(相談支援従事者現任研修 他)

8. 広報・啓発活動他

- ・広報紙「そよかぜだより」発行、・ホームページによる情報提供

I. 事業実施状況

1. 相談・支援

- (1) 障がい者や事業主からの個別相談
- (2) 職業準備訓練や職場実習の斡旋
- (3) 事業主に対する障がい者の就職後の雇用管理への助言、調整
- (4) 働く仲間のグループ育成と交流会の開催「ゆーとぴあ」
 - ①雇用安定等事業在職者交流会
 - i 11月26日(日) : 勉強会。体験発表、グループワーク(仕事を続けるために必要なこと等を共有) ※求職者との合同開催 在職者6名参加
 - ii 令和6年3月2日(土) : 木次図書館：図書館の使い方、本の探し方、読み聞かせ、仕事に役立つ本の紹介。在職者12名参加
 - ②島根県障がい者の仕事と生活の両立支援事業
 - i 5月28日(日) : ヨガ教室・昼食会 在職者：12名参加
 - ii 7月23日(日) : ポーセラーツ、音楽鑑賞 在職者：12名参加
 - iii 10月22日(日) : 奥出雲トロッコ列車、豆腐作り 在職者：12名参加
 - iv 11月26日(日) : 多肉植物の寄せ植え 在職者：7名参加
 - v 3月2日(土) : 松江エクセルホテル東急ビュッフェ昼食会、ボーリング 在職者：12名参加
 - (5) 求職者のためのピアサポート活動の実施
 - i 9月22日(金) : ウェルネスの会社説明、障がい者雇用で働いている方の体験発表 障害者雇用について会社からの話、ウェルネス大東店見学 グループワーク 求職者8名参加
 - ii 11月26日(日) : 勉強会。体験発表、グループワーク(仕事を続けるために必要なこと等を共有) ※在職者との合同開催 求職者3名参加

2. 関係機関との連携、ネットワークの構築

- (1) 連絡会議の開催：令和5年7月6日(集合開催)
- (2) 就労支援専門部会の開催
 - ①全体会(ネットワーク会議)
 - ・開催日：5月18日(集合開催)、3月4日(集合開催)
 - ・内容：各ワーキンググループの活動内容の共有、意見交換等
 - ②一般就労ワーキンググループ
 - ・開催日：5月18日、6月28日、7月28日、8月18日、9月27日、3月4日
 - ・内容：企業アンケート実施について内容、発送先企業の検討、アンケート結果と次年度の取り組み内容の検討
- (3) 雲南地域はたらく応援プロジェクトの取り組み
 - ①福祉サービス事業所とのケース検討会の実施： 10事業所、対象者 26名
 - ②福祉サービス事業所利用者の職場体験実習支援： 20件
- (4) 研修会の開催
 - ①マナーアップ講座：ふきのとう、かも就労センター他計4回実施
 - ②就職ガイダンス(12月7日)
 - ・会場：下熊谷交流センター
 - ・内容：講演①「楽しく学ぼう！ビジネスマナー講座 ～練習してみよう！よい印象を持たれる電話のかけ方～」
島根障害者職業センター 講師：開田 美穂 氏、金崎 深雪 氏

講演② 「採用面接のポイント～面接を受けるときに押さえておきたいポイントを学ぼう～」

ハローワーク雲南 上席職業指導官 藤原 龍嗣氏

・参加人数：18名

③就労学習会（令和6年2月9日）

・会場：三刀屋農村環境改善メインセンター

・内容：①体験発表「働きたい」を実現するには～勤続20年の就労を支える取り組み～
飯石森林組合製材加工課、課長 小山 慶久氏 深居 政紀氏、

②健康講座 スマートフォンとの上手なお付き合い

講師：雲南保健所 保健師 川岡 和也氏

・参加人数：28名

(5) ハローワーク雲南との情報交換会の開催：計12回実施

(6) 東部発達障害者支援センターウィッシュとの情報交換会の開催：計3回実施

(7) 雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画

(8) 県内センター連絡会議、センター長会議の開催・出席

(9) 他機関主催の会議等への出席（労働局主催会議、特別支援学校進路相談会他）

3. 広報・啓発活動他

(1) 企業への訪問、職場開拓

(2) 障がい者雇用情報紙「レインボー」企画・取材

(3) 広報紙、ホームページによる情報提供 他

II. 相談・支援実施件数

1. 支援対象障がい者の状況（令和6年3月末時点）

(1) 登録状況（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R4)
在職中	19	79	67	8	173	164
求職中	13	26	38	4	81	71
その他	1	11	7	3	22	23
合計	33	116	112	15	276	258

(2) 登録者の居住地（人）

雲南市	207
奥出雲町	39
飯南町	21
その他	9
合計	276

(3) 新規登録者の利用経路（人）

ハローワーク	3
地域障害者職業センター	0
特別支援学校	4
就労移行支援事業所	1
上記以外の福祉サービス事業所	4
市町村等行政機関	1
直接利用	3
その他（病院・保健所等）	3
合計	19

<登録者の状況>

新規登録者は特別支援学校の卒業生が4名、その他の学校の卒業生が3名で、特別支援学校以外の学校の卒業生が増えている。新規求職者は、障がいを伝え、支援も受けて働いていた方が、様々な理由で転職を希望されることが多かった。また就労支援事業所を利用して、準備を整え、一般就労に進まれる方もおられた。

2. 障がい者に対する支援の実施状況

(1) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数（手段別）（件）

(R4)

センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	395	318
電話・Fax・e-mail（本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む）	1,337	911
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	370	214
家庭・入所施設への訪問	82	71
その他（ハローワーク等への同行、企業・施設見学同行、ケース会議への参加等）	199	192
	2,383	1,706

(2) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数（内容別）（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R4)
就職に向けた相談・支援	77	354	655	100	1,186	559
職場定着に向けた相談・支援	26	298	410	51	785	829
日常生活、社会生活に関する相談・支援	4	60	58	21	143	138
就業と生活の両方にわたる相談・支援	6	62	179	22	269	180
合計	113	774	1,302	194	2,383	1,706

<相談・支援の状況>

就職に向けた相談が前年度より倍増した。また精神障がいのある特定の方に対して1日の電話対応が増え、対応に苦慮した。

(3) 職場実習等のあっせん件数（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R4)
職業準備支援	0	0	0	0	0	0
職場実習	4	18	22	0	44	18
合計	4	18	22	0	44	18

<職場実習支援の状況>

前年より、コロナ感染症の扱いが変わったり、転職希望者が多かったことから体験実習や雇用前実習の件数が増加した。

(4) 就職状況

①就職件数（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R4)
一般（30時間以上）	0	6	8	0	14	6
短時間①（20時間以上30時間未満）	1	2	1	0	4	2
短時間②（20時間未満）	0	1	1	0	2	4
合計	1	9	10	0	20	12

※その他、就労継続支援事業A型への就職件数：0件（R4：0件）

②就職先産業別件数（件）

農林漁業	1
製造業	11
小売業	3
医療・福祉	1
総合組立産業	2
公務	2
合計	20

③職業別件数（件）

土木業	1
事務的職業	2
サービスの職業	2
農林漁業の職業	1
生産工程の職業	10
運搬・清掃・包装等の職業	2
販売の職業	2
合計	20

(5) 職場定着支援の実施状況

①職場訪問による職場定着支援件数：144 件 (R4：109 件)

②令和4年度中に就職した者(雇用契約等により1年以内に離職することが明白な者を除く)の、就職後1年経過時点の職場定着率

A. 令和4年4月～令和5年3月までの就職件数(雇用契約等により1年以内に離職することが明白な者を除く)(件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般(30時間以上)	0	2	4	0	6
短時間①(20時間以上30時間未満)	1	0	1	0	2
短時間②(20時間未満)	0	1	3	0	4
合計	1	3	8	0	12

B. Aのうち就職後1年経過時点での在職者数(人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
合計	0	3	8	0	11

C. 1年経過時点の定着率(B/A)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R4)
合計	0	100%	100%	0%	91.7%	78.9%

<職場定着支援の状況>

今年度より、公務で就職された方についても新たに就職から定着支援で訪問し対応した。精神・発達障がいのある方については、出勤が不安定となり、職場訪問し、対応することも多かった。

3. 事業主に対する相談・支援の実施状況

(1) 相談・支援を行った事業所数：130 所 (R4：70 事業所)

(2) 相談・支援件数(手段別)(件)

		(R4)
①センターへの来所	6	11
②電話(FAX、e-mail等を含む)	511	296
③企業訪問(職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む)	394	202
④その他(ケース会議等を通じた支援)	2	0
合計	913	509

(3) 相談・支援件数(内容別)(件)

		(R4)
①雇入れに関する相談・支援	436	137
②雇用する障がい者の職場適応・職場定着に関する相談・支援	321	278
③雇用する障がい者の生活面に関する相談・支援	5	5
④障がい者の雇用支援制度に関する相談・支援	0	0
⑤その他(職場体験実習に関する事等)	151	89
合計	913	509

<事業主に対する相談・支援の状況>

前年より転職希望者も含めた新規求職者が増えたことに伴い、雇入れに関する相談や支援について企業とやり取り取りする機会が倍近く増えた。

4. 関係機関との連携状況等

(1) 他支援機関に対する相談・支援件数(就労支援に関する一般的な相談への対応や、他機関が主催するセンター登録外のケース会議への出席等)：6

(2) センター登録者への個別支援において、関係機関と連携を図った件数(ケース会議や打ち合わせ、他機関への支援依頼等)：1,262

<関係機関との連携状況>

生活支援機関、医療機関、教育機関等、様々な関係者と連携を図りながら支援にあたった。

令和5年度 地域活動支援センターパレット 事業報告

(地域活動支援センターI型事業・機能強化事業、地域生活支援事業、手話通訳者設置事業)

1. 総括

- (1) 地域活動支援センターI型事業を実施した。主に精神、知的、発達、高次脳機能に障がいのある方や引きこもり等により、社会参加ができていない方を対象に、憩いの場の提供、創作活動や生産活動等の機会の提供、自主活動支援(余暇活動)、地域交流活動の場を提供した。また、機能強化事業を受託し、専門職員を配置すると共に週末も開所し、平日は就労あるいは福祉サービス事業所等に通所している方の地域交流、活動の場を提供した。また、当事者団体の自主活動を支援した他、ボランティア育成に取り組んだ。
- (2) 地域生活支援事業を実施した。身体、知的、精神、発達、高次脳機能に障がいのある方やひきこりの方を対象に社会生活トレーニング、自主活動支援(余暇活動)、仲間づくりや地域住民への啓発活動、広域的な地域交流事業を実施した。また、聴覚に障がいのある方を対象に手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成に取り組んだ。
- (3) 手話通訳者設置事業を実施した。聴覚障がいのある方を対象に手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業を円滑に進めるとともに日常生活の便宜を図った。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月に4日間閉所としたが、5月以降の事業は、すべて実施した。

2. 開所日及び週末開所

年間を通して週末も開所し、平日は就労、福祉サービス事業所等に通所している方、医療機関に通院している方も当事者活動に参加できるようにした。サロンでのピア活動やテーマを設定した活動の機会を設け、当事者のエンパワメント、リカバリーを支援した。

開所日 286日	開所率 78.1%
----------	-----------

開所日：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時	日曜日 午前9時30分～午後4時
休所日：土曜日、第5日曜日、祝祭日、12月29日～1月3日	

3. 市町別利用者数

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他市町	計
実利用者数	112人	22人	4人	3人	141人
延利用者数	5,875人	1日当り利用者数		20.5人	

4. 地域活動支援センターI型事業・機能強化事業

(1) 日常生活支援

一人で自由に過ごしたり、仲間同士で語り合ったりできる憩いの場(ピアサロン)を提供した。他者との関わり方や情動、ストレスへの対処、マナーやルール、金銭管理、食生活等で相談や援助が必要な方には職員が関わり、日常生活が安心して送れるよう支援した。また、病状や生活経験不足などで自宅での入浴や洗濯ができていない方に浴室や洗濯機・乾燥機を提供した。

ピアサロン、ピアカウンセリング	3,740人
入浴サービス	7人
洗濯サービス	1人

(2) 生産活動

「自分のペースでゆっくり働きたい」、「障害福祉サービス利用までの準備期間として作業を経験したい」などという方を対象に軽作業の場を提供し、社会参加の促進を支援した。個別の目的に沿った作業への取り組みや体調等に応じた作業ができるよう支援をした。

軽作業(毎週火・水・木曜日 10時～12時実施)	141回	263人
--------------------------	------	------

(3) 自主活動支援

創作活動、パレットタイム、パレットシアター、カラオケの日など利用者の余暇活動、自主活動への意欲につながるよう利用者のニーズを考慮し、企画、実施した。また、体力、健康の増進、気分転換などを目的に軽スポーツ活動も実施した。その他、テレビ、パソコン、本、マンガなどを設置し、個人で過ごすことができるようにした。さらに利用者が多様な考え方を出し合い、分かち合うピア(仲間)サポートの場として利用者ミーティング(茶話会)を実施した。また、出張支援センターを奥出雲町(2回)、飯南町(1回)で実施した。

創作活動、パレットタイム	12回	52人
スポーツ活動(軽スポーツ、卓球、ボッチャ)	32回	146人
文化活動(カラオケ、シアター、社会研修)	29回	72人
利用者ミーティング(茶話会)	4回	19人
出張支援センター	3回	51人

(4) 地域交流活動

地域の講師や地域のボランティアを招き、茶道、書道、絵手紙教室、食事会などを実施した。講師やボランティアから作法や調理の仕方等を教えてもらうことを通して楽しく会話をするなど交流することができた。

茶道教室、書道教室、絵手紙教室	12回	55人
食事会、カレーの日	24回	582人
雲南人権擁護委員との交流活動	2回	11人

(5) 当事者団体への支援

当事者会サークル雲南、雲南障がい者スポーツ協会の事務局として、より充実した当事者活動になるよう支援を行った。サークル雲南では、雲南地域在住の当事者の様々な活動を通じた社会参加と地域生活での充実を支援した。スポーツ協会では、グラウンドゴルフ大会、スポーツ大会、ニュースポーツ大会を感染防止対策を行いながら実施した。

団体名	内容	実施回数	参加者数
当事者会サークル雲南	ミーティング、例会等	35回	315人
	ボランティア活動	7回	57人
	スポーツ活動	25回	203人
	たよりの発行	12回	252人
	会議への出席	7回	7人

雲南障がい者スポーツ協会	雲南障がい者グラウンドゴルフ大会	1回	60人
	雲南障がい者スポーツ大会	1回	120人
	雲南障がい者ニュースポーツ大会	1回	115人

(6) 地域交流、啓発活動

毎年、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関と協働し、障がいへの理解促進、啓発活動と活動を通じた当事者のエンパワメントを図ることを目的に地域交流活動を実施しており、「雲南地域当事者交流会」を4年ぶりに対面で開催した。

内容	実施回数	参加者数
雲南地域当事者交流会	1回	53人

(7) ボランティア育成・連携（センター主催活動への参加・支援）

地域ボランティアと連携を図り、食事会などを通じた当事者との交流の機会を設け、障がいに対する理解促進、啓発を行った。ただし、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、雲南地域当事者交流会は、中止した。

内容	実施回数	参加者数
食事会、カレーの日、絵手紙教室	25回	56人
出張ピアサロン、視覚交流会	10回	16人
雲南人権擁護委員との交流活動	2回	4人
雲南地域スポーツ大会	1回	1人

5. 地域生活支援事業

(1) 社会生活力トレーニング

主に精神障がいのある方を対象に、パソコンに触れ、慣れ親しむ体験の場を月1回提供した。また、重度身体障がいのため外出が困難な方を対象とした訪問パソコン教室を実施した。

パソコン体験教室	62時間	62人
訪問パソコン教室	64時間	64人

(2) 手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成講習会等

聴覚等に障がいがある方のためにコミュニケーションが円滑にできるよう、コーディネート支援を行い、当事者支援をした。さらに、手話奉仕員養成講習会（基礎講座）を開設や手話奉仕員、要約筆記奉仕員等のフォローアップ研修会、手話体験教室を行い、地域啓発と理解促進を行った。

コミュニケーション支援依頼	64件
手話通訳者派遣	44人
手話奉仕員派遣	18人
要約筆記奉仕員派遣	8人
盲ろう者通訳介助員派遣	28件

手話奉仕員養成講座（入門）	講座 25回（受講生 8人）	168人
手話奉仕員研修会	4回	44人
要約筆記者等研修会	1回	0人
手話体験教室（雲南市、奥出雲町）	2回	68人

(3) 出張ピアサロン、視覚障がい者の外出支援

各地域に出向き、当事者の交流活動を開催し、余暇活動や仲間作り、情報交換の場を設けた。

内容	場所	内容	回数	参加者数
出張ピアサロン	雲南市	出前講座、ボッチャ、演劇鑑賞、正月飾りづくり教室、茶話会	6回	84人
	奥出雲町	ミニ遠足	1回	16人
	飯南町	リンゴ狩り	1回	20人
視覚障がい者外出支援	雲南市・奥出雲町	交流会、遠足	2回	21人

(4) 広域的な地域交流・研修事業や啓発活動の実施

毎年、広域的な地域交流活動を開催し、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関との協働や障がいへの理解促進・啓発活動と活動を通じた当事者のエンパワメントの向上を図っているが、今年度は、「みとやっこまつり」等に出展（店）した。

内容	実施回数	参加者数
精神障がいのある方の家族交流会	1回	16人
家族研修会（こころのフォーラム2023）	1回	38人
雲南地域スポーツ大会	1回	42人
みとやっこまつりへの出展（店）	1回	約250人
そよかぜだより発行	2回	

6. 手話通訳者設置事業

聴覚に障がいのある方の通訳、相談、コーディネートを行うとともに手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業が円滑に進むよう日常生活の便宜を図った。

通訳	258件
相談	642件

外部からの手話指導依頼	依頼	19件
	当事者講師	17人
	通訳者	13人